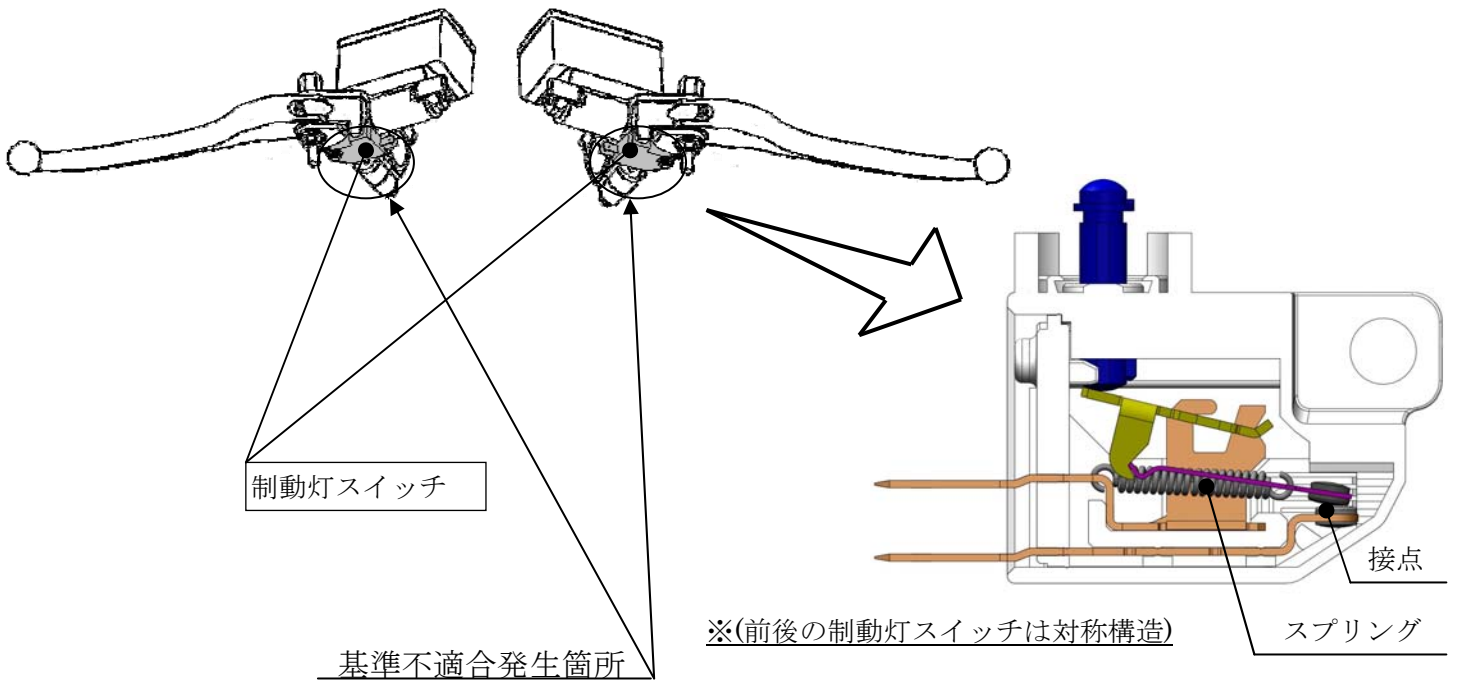
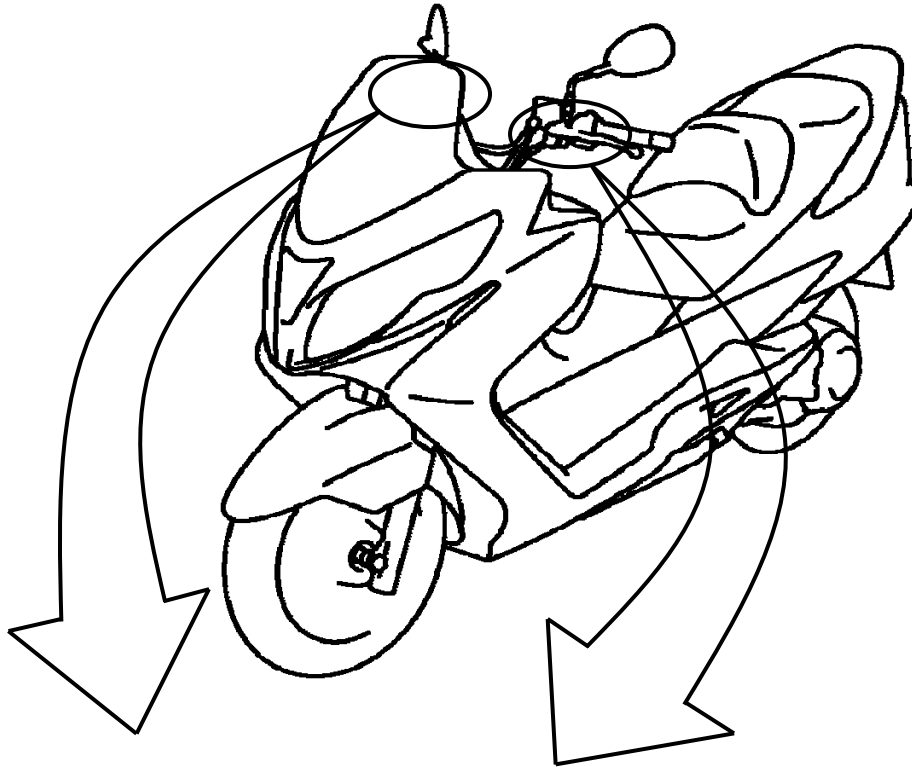


改善箇所説明図



制動灯スイッチにおいて、内部の構造が不適切なため、制動操作時に接点を密着させるスプリングが通電することにより発熱し、スプリングが伸びる場合がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、スプリングの張力が不足し、接点の密着力が低下することによる接触不良で制動灯が点灯しなくなり、最悪の場合、原動機の始動ができなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、当該スイッチを対策品と交換する。

注： は交換部品を示す。

識別：制動灯スイッチ下側に、識別用の白ペイントがあり、容易に識別できる。